福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和７年６月２７日（金）

２　確認箇所

増設多核種除去設備（図１）

３　確認項目

増設多核種除去設備の現況

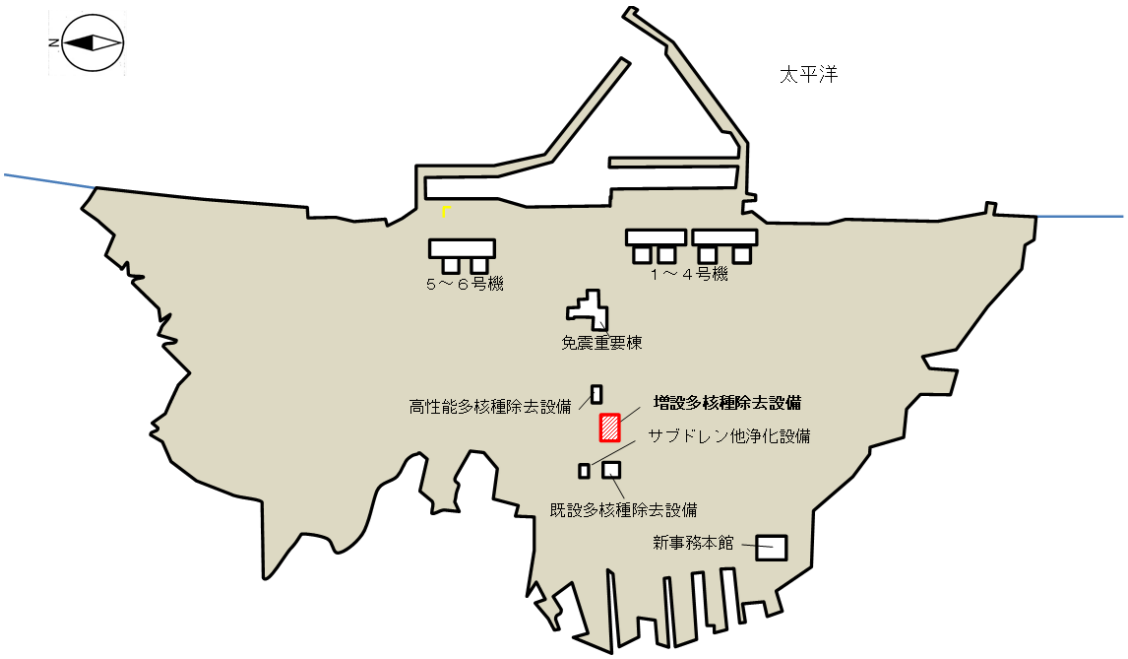
４　確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和５年１０月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和６年２月）」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、本県では汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検状況を適宜、継続して確認している。

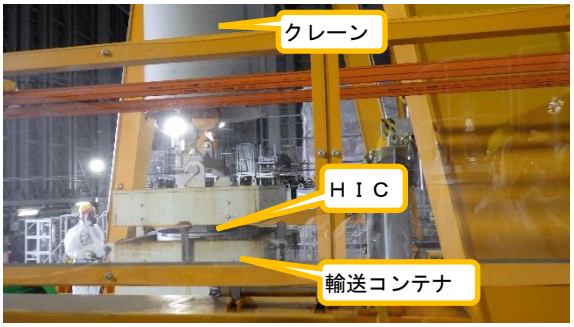
本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ＡＬＰＳ」という。）建屋内で実施されている作業等の状況を確認した。（前回確認：令和７年６月２４日）

・増設ＡＬＰＳは、Ａ系、Ｂ系及びＣ系で構成されており、当日はＡ系が循環待機、Ｂ系及びＣ系が停止中であった。
・ＨＩＣ※払い出しエリアにおいて、輸送コンテナへのＨＩＣの積み込み作業が行われており、ＨＩＣを建屋外へ搬出していた。（写真１）
・ＨＩＣの積み込み作業は指差呼称及び無線による作業内容の確認を実施しながら行われており、安全に作業が行われていた。
・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。

※HIC（High Integrity Container：高性能容器）は、汚染水の処理をする際に発生する泥状物及び使用後の放射性物質吸着材を保管するための容器。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）ＨＩＣ搬出の状況①

（写真１－２）ＨＩＣ搬出の状況②
※輸送コンテナの中にＨＩＣが格納されている

５　プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。